



つがる

広報

2007
12.15
No.69



つがるの四季を舞う

アラバキ
縄文荒吐会20周年記念チャリティー発表会で
舞踊を披露する倉光一恵さん(木造柴田)
7ページに関連

管理の状況

市では、職員の給与と定員管理の適正化について、広く市民の理解を得るため、次のとおり公表します。

市職員の給与は、国家公務員の給与水準を基本に民間企業などと比較して、職務の内容を考慮したうえで、議会の審議を経て市の条例で定められているものです。また、定員管理については、5年ごとに事務量を勘案して定員適正化計画を策定し、人員の適正化を図ります。

(7) 特別職の報酬等の状況（平成19年4月1日現在）

区分	給料・報酬月額	期末手当 (18年度支給割合)
市長	820,000円	3.35 月分
副市長	650,000円	3.35 月分
収入役	620,000円	3.35 月分
議長	380,000円	3.35 月分
副議長	350,000円	3.35 月分
議員	320,000円	3.35 月分

(退職手当)

区分	(算定方式)	(支給時期)
市長	給料月額×在職月数×52/100	任期毎
副市長	給料月額×在職月数×26.5/100	任期毎
収入役	給料月額×在職月数×24/100	任期毎

(8) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

行政部門	職員数		主な増減理由
	18年	19年	
一般	議会	5	5
	総務	141	148
	税務	28	28
	民生	131	114
	衛生	34	33
	労働	2	2
	農林水産	53	46
	商工	8	5
	土木	30	28
	小計	432	409
特別	教育	81	77
	消防	126	122
	小計	207	199
公営企業等	病院	77	76
	下水道	10	9
	その他	28	33
	小計	115	118
合計		754 [788]	726 [788]
		△28 [−]	

※1 職員数は一般職に属する職員数です。

2 []内は、条例定数の合計です。



窓口で対応する職員

(9) 定員適正化計画の数値目標及び進捗状況

① 定員適正化目標

(人)

計画期間		数値目標 (平成22年4月1日)	
始期	終期	一般行政	381
平成17年4月1日	平成22年4月1日	特別行政	80
		消防	122
		計	202
		公営企業等	110
		合計	693

② 定員適正化計画の年次別進捗状況（実績）の概要

(各年4月1日現在)

部門	区分	17年	18年	19年	(参考)
		計画始動	1年目	2年目	数値目標
一般行政	職員数	444	432	409	381
	増減		△12	△23	△63
教育	職員数	86	81	77	80
	増減		△5	△4	△6
消防	職員数	126	126	122	122
	増減		0	△4	△4
公営企業等会計	職員数	112	115	118	110
	増減		3	3	△2
計	職員数	768	754	726	693
	増減		△14	△28	△75

※ 計画期間は、17～22年の5年間です。

市職員の給与・定員

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (18年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考)17年度 の人事費率
18年度	39,298人	20,163,684千円	342,585千円	5,603,842千円	27.8%	27.1%

※人件費には、職員の他に特別職（議員、市長、副市長、収入役、教育長等）に支給される給料・報酬を含みます。

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数A	給与費				1人当たりの給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計B	
18年度	638人	2,618,930千円	351,772千円	949,956千円	3,920,658千円	6,145千円

※職員手当には退職手当を含みません。

(3) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成19年4月1日現在）

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
つがる市	47.4歳	360,600円	392,050円
国	40.7歳	325,724円	－円

②技能労務職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
つがる市	50.1歳	299,900円	316,403円
国	48.8歳	287,094円	－円

③消防職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
つがる市	42.2歳	316,500円	365,389円

(4) 職員の初任給の状況（平成19年4月1日現在）

区分		つがる市	国
一般行政職	大卒	170,200円	170,200円
	高卒	138,400円	138,400円
技能労務職	高卒	135,600円	－
	中卒	127,700円	－
消防職	大卒	162,800円	－
	高卒	142,100円	－

(5) 一般行政職の級別職員数の状況（平成19年4月1日現在）

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
標準的な職務内容	主事	主査	主係幹長	総課括長 主補幹佐	副課 參事長	参次 事長	理部 事長
職員数(人)	10	24	78	111	108	22	8
構成比(%)	2.8	6.7	21.6	30.7	29.9	6.1	2.2

※1 つがる市給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。（税務職・保育士は含みません）

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

(6) 職員の手当の状況

①期末手当・勤勉手当（平成18年度6月期の期末手当を20%、勤勉手当を17%減額）

(18年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当
3.0月分	1.45月分
(1.6)月分	(0.75)月分

(加算措置の状況)

職制上の段階、職務の級等による加算措置
・役職加算（5～15%）

※（ ）内は、再任用職員に係る支給割合です。

②退職手当（平成19年4月1日現在）

(支給率)	自己都合	勧奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分
1人当たり平均支給額	4,578千円	23,117千円

その他の加算措置 定年前早期退職特例措置
(2～20%加算)

（退職時特別昇給 なし）

※退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した職員に支給された平均額です。

③その他の手当（平成19年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価
扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者 13,000円 ・配偶者以外2人目まで 6,000円 ・配偶者有（扶養手当無）の1人目 6,500円 ・配偶者無の1人目 11,000円 ・3人目以降 6,000円 <p>※満16歳から満22歳までの子1人につき5,000円加算</p>
住居手当	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅 3,000円 ・借家、借間 限度額 27,000円
通勤手当	<ul style="list-style-type: none"> ・バス等交通機関利用者 限度額 55,000円 ・片道2km以上で自動車等交通用具利用者2,000円～35,000円
管理職手当	・管理又は監督の地位にある職員 給料×2～15%
管理職員特別勤務手当	・管理又は監督の地位にある職員が週休日、休日等に勤務したとき 4,000円～6,000円
休日勤務手当	・休日等に勤務する職員単価×135/100(1時間当たり)
夜間勤務手当	・正規の勤務時間として午後10時から翌日午前5時まで勤務する職員 単価×25/100(1時間当たり)
宿日直手当	・宿日直業務をした職員 4,200円（一般）～20,000円（医師）
単身赴任手当	・公署を異にする異動等により単身赴任となる職員 限度額 68,000円

つがーるちゃん

農産物フェア

11月17日、18日の2日間、イオンモールつがる柏店に隣接する旧ホームセンターにおいて「**「バーベキュー・コンテスト」**」を開催する。

ア」が開催されました。開会式で福島市長は「地産地消を推進しながら、つがる市の農産物を首都圏を中心に発信し、全国にPRしていきます」とあいさつ。フエアにはブランド化を推進しているゴボウ、ネギ、ナガイモ、トマト等の野菜や車力産小麦を使つたねばりごしうどん、トマト



良食味米を試食し食べ比べをする買い物客たち

を使用したドーナツや漬物など
をつがる市産の食材を使った加工
品も販売され、市内外から訪れ
た買い物客らは品定めをしながら
買い物を楽しんでいました。

また、良食味米コンクールで
最優秀賞を受賞した三上八千雅
さんの「つがるロマン」と佐々
木直光さんの「まつしぐら」、
新潟県魚沼産の「コシヒカリ」
を食べ比べる試食会や山崎トオ
ルスープマジックショー、「T
OB」や「m i u m i u」の
ライブコンサート、豚汁の振る
舞い等も行われ会場内はにぎわ
いをみせていました。



豚汁を振る舞う食生活改善推進員の皆さん

つがる市良食味米 コンクール審査結果

平成19年度つがる市良食味米コンクールには、つがるロマン69点、まつしぐら32点の計101点が出品され審査が行われました。評価としては、食味値を最重要評価とし、次にタンパク質について評価しました。また、同点の場合には品質（2等は選外）について被害粒、胴割れ米、肌ずれ等を考慮して評価をしております。結果については、左記のとおりです。

【受賞した部門】		
	氏名	評価
最優秀賞	三上八千雅(木造林)	食味値91、タンパク質6.0%、1等米
優秀賞	鎌田 真彰(木造福原)	食味値91、タンパク質6.1%、1等米
優秀賞	小山内 修(木造福原)	食味値90、タンパク質6.3%、1等米
優良賞	工藤 芳久(柏広須)	食味値90、タンパク質6.3%、1等米
優良賞	成田 正人(木造千代田)	食味値89、タンパク質6.2%、1等米

【まっしぐらの部】

氏名		評価
最優秀賞	佐々木直光(柏稻盛)	食味値87、タンパク質6.6%、1等米
優秀賞	工藤 勝幸(柏稻盛)	食味値84、タンパク質6.6%、1等米
優秀賞	柴谷 新一(柏上古川)	食味値83、タンパク質6.8%、1等米
優良賞	金沢 昭雄(柏広須)	食味値82、タンパク質6.7%、1等米
優良賞	原田 拓夫(木造福原)	食味値82、タンパク質7.3%、1等米

道路交通診斷



死亡事故現場を診断する八戸署長(左)と福島市長(右)

11月12日、木造菰槌常盤の県道で防雪柵に車が衝突し死者が出る痛ましい事故が発生しました。つがる警察署では、交通事故を抑止するため福島市長はじめ、市交通安全協会、市交通安全母の会、西北地域県民局鰺ヶ沢道路河川事業所等の関係機関が一堂に会して道路の交通診断を行いました。

つがる警察署の八戸署長から交通死亡事故の概要について説明が行われ、事故防止対策について協議した結果、路面上に減速マーキング表示を付け、事故防止の看板を設置するなど対策が講じられることとなりました。

福島市長は「高齢者の交通事故が事故発生件数の高い割合を占めているため、交通安全教室やパトロールを強化してこれ以上交通死亡事故を起こさせないように取り組んでいきたい」と述べました。

つがる市の交通死亡事故皆無は8月16日に250日を達成し記録を更新中でしたが、今回の交通死亡事故により337日でストップしました。

市民スポーツ大会

競技で熱戦が繰り広げられました。12月2日、平成19年度市民スポーツ大会が開催され、バスケットボール、バレーボール、卓球、ゲートボールの



バスケットボール競技



バレーボール競技



バドミントン競技



ゲートボール競技



卓球競技

●卓球【穂波小学校体育館】

〈団体の部〉

- ・小学生男子の部 優勝 向陽A 第2位 穂波A 第3位 穂波B 第3位 向陽B
- ・小学生女子の部 優勝 向陽A 第2位 向陽B 第3位 穂波A
- ・一般の部 優勝 悟空A 第2位 チーム小山内 第3位 川小卓球部 第3位 生田工務所

〈個人の部〉

- ・小学生男子の部 優勝 佐藤真樹 (向陽小) 第2位 新岡英人 (向陽小) 第3位 一戸謙太 (穂波小) 第3位 新岡慧太 (穂波小)
- ・小学生女子の部 優勝 小山内優菜 (向陽小) 第2位 中川 瑞貴 (向陽小) 第3位 相馬 小夏 (向陽小) 第3位 長谷川恵理 (向陽小)
- ・一般男子の部 優勝 生田侑平 (生田工務所) 第2位 長尾 修 (悟空クラブ) 第3位 渋谷大知 (生田工務所) 第3位 葛西孝信 (悟空クラブ)
- ・一般女子の部 優勝 成田花音 (チーム小山内) 第2位 工藤香苗 (TSK) 第3位 工藤綾乃 (TSA) 第3位 野呂 慈 (川小卓球部)
- ・個人戦ダブルスの部 優勝 生田侑平・渋谷大知 (生田工務所) 第2位 工藤昌弘・藤本達也 (悟空クラブ) 第3位 菊地卓哉・斎藤雅也 (川小卓球部) 第3位 長谷川竣・長谷川翔太 (TSK)

●バドミントン【柏総合体育センター】

・中学生女子の部

- 優勝 竹鼻 瑞 石岡麻理 第2位 佐々木彩 長内麻紀穂 第3位 白戸遥華 白戸夏姫 第3位 蝦名芹香 川村雪菜

・一般男子の部 (1部)

- 優勝 長谷川順哉 福田慎太郎 第2位 岩村和憲 本間昌志 第3位 桑田 翔 奈良洋平 第3位 小寺 宏 北澤秀世

・一般男子の部 (2部)

- 優勝 木津谷昭弘 高橋君弘

・一般女子の部 (1部)

- 優勝 工藤敦子 吉田純子 第2位 葛西あい 工藤恵未 第3位 米谷美智代 小笠原佳子 第3位 高橋とし子 福井弘美

●バレーボール

【瑞穂小学校体育館】

- 優勝 稲垣A (稻垣町)
第2位 稲垣B (稻垣町)
第3位 木造A (木造)
第3位 木造B (木造)

●バスケットボール

【木造中学校体育館】

- 優勝 木造B (木造)
第2位 福島組 (木造)
第3位 The Rokets (車力町)
第3位 SARU (木造)

●ゲートボール

【柏体育センター多目的運動場】

- 優勝 稲垣A (稻垣町)
第2位 三ツ館 (木造)
第3位 下町B (木造)
第3位 稲垣B (稻垣町)



お仕事がんばって

—木造西幼稚園—

11月6日、木造西幼稚園児40人が「勤労感謝の日」を前に市役所を訪れ、福島市長や職員に感謝の言葉を述べました。園児たちは「毎日のお仕事ご苦労様です。私たちのためにがんばってください」と大きな声でいさつ。福島市長へ鉢花やお菓子、手作りカレンダーや歌を贈りました。

福島市長は「皆さんからパワーをもらいました。風邪をひかないようですね」とお礼を述べ、プレゼントを園児たちに渡しました。

秋野菜や特産品を販売

—木造夕市の会—

11月15日、木造夕市の会が木造中央公民館で会員たちが育てた秋野菜や手作り加工品の販売を行いました。

待ち兼ねていた市民は並べられた野菜やもち類、漬け物や山菜等を買い求め、会員たちは大忙しで対応していました。

今年の販売は、27日の木造中央公民館で行われる年末セールで終了です。



1日技能教室

—県立弘前高等技術専門校つがる校—

11月16日、県立弘前高等技術専門校つがる校で「1日技能教室」が開催され市民40人が参加しました。

配管科では塩ビパイプ製の子供用椅子、溶接科では鉄製の焼肉用鉄板の製作が行われ、つがる校の生徒が指導教官となりながら、製作していました。

完成した作品を手にした参加者は、手作りで製作する喜びを味わい貴重な体験をしていました。

雪印牛乳がV6

—朝野球大会の閉会式—

11月16日、「松の館」で第43回木造支部朝野球選手権大会の閉会式が行われシーズンの健闘を称えました。

今シーズンは、メジャーリーグ11チーム、マイナーリーグ6チームが参加し、メジャーリーグは「雪印牛乳」が6年連続の優勝、マイナーリーグは「ひこいち亭」が優勝しました。

また、MVPには、野宮健司（雪印牛乳）選手が選ばれ、来シーズンの健闘を誓い合い懇親を深めながら熱戦を振り返っていました。



コミュニティ自治を学ぶ

—自治会連合会—

11月19日、「松の館」で市内自治会の代表者44人が参加してつがる市自治会連合会研修会が行われました。

長谷川良幸会長は「住民の自治能力を高め、安全で安心できる町内会の運営に努めましょう」といさつし、引き続き「コミュニティ自治とは何ですか」というテーマで講演が行われ、地域住民が自分たちの手で地域を良くするための取り組み方法や助成事業等について学んでいました。

認知症の寸劇を披露 ー木造老人福祉センターまつりー

11月22日、木造老人福祉センターまつりが行われ多くの市民が訪れました。展示コーナーには、生け花や陶芸、機能訓練作品や書道が展示され、「ひまわりの会」や「あいうえおの会」の会員たちによる手作りのマスコット人形やカードケース等が販売されました。

また、介護課職員による健康劇は「認知症の祖母を抱える家族」をテーマに寸劇が披露され、観衆は真剣なまなざしで見入っていました。昼には、牛蒡めんとおにぎりが振る舞われ市民は美味しいいただきながら、楽しい1日を過ごしていました。



身体障害を克服し表彰 ー身体障害者福祉連合会ー

11月22日、柏農村環境改善センターで154人が参加し、第43回西北つがる地区身体障害者社会参加促進大会並びに家族の集いが行われました。式典では、身体障害を克服し社会福祉の活動に貢献した11人が表彰された後、会員や家族による歌や踊りの披露が行われました。久々に顔を合わせる会員たちは、交流を深めながら自立更生意欲を確かめ合い、社会参加の意識を高めしていました。



20周年記念チャリティー発表会 ー縄文荒吐会ー

11月24日、「松の館」で創作太鼓グループの縄文荒吐会20周年記念チャリティー発表会が行われ、約600人の観客が訪れました。オープニングは力強い太鼓で幕を開け、「つがるの四季を舞う」と題して映像を映しながら舞踊やねぶた囃子、三味線等で幻想的な四季を表現し、後半は、詩の朗読と遮光器土偶をイメージした面や衣装を身にまとった会員による太鼓演奏との共演で盛り上がりを見せっていました。



プロから基本を学ぶ ー西北五ジュニアボウリング教室ー

11月25日、市体育協会が主催した西北五ジュニアボウリング教室がイズミボウリングセンターで行われ、西北五地域の小学4年生から中学3年生までの80人が参加しました。

子どもたちは、競技のマナーや球の持ち方、握り方など基本的な技術をプロボウラー4人から教わりながら練習し、後半は成果を確かめるためハンディキャップをつけた大会も行われ、将来のプロボウラーを目指して楽しんでいました。

クリスマスロビーコンサート ー成人病センターー

12月4日、成人病センターで恒例のクリスマスロビーコンサートが行われました。今回で7回目となるロビーコンサートは病院職員たちがサンタクロースの衣装で登場し、バンド演奏に合わせてジングルベルの歌や手踊り等が披露されました。

入院する患者たちは心弾むひとときを過ごし、ひと足早いクリスマスを楽しんでいました。

